

# 学校図書館支援センターだより



新居浜市教育委員会学校教育課  
新居浜市一宮町一丁目5番1号  
TEL (0897)65-1301

## 新居浜市学校図書館教育研修会（Zoomによるリモート）を開催しました

日時：令和7年2月12日(水) 14:00～16:00

講師：宮澤 優子 先生

- ・伊勢市教育委員会事務局社会教育課 子ども読書活性化担当 主幹
- ・Google認定教育者Lev.1・2
- ・GEG Minami Shinshu共同リーダー
- ・教育著作権フォーラム初中等WG幹事
- ・日本デジタル・シティズンシップ教育研究会専門委員

テーマ：明日から使える図書館活用の実例 ※資料の一部を紹介させていただきます。

### 【学校図書館の現状】

#### 学校図書館のアドバンテージ

- ・即効性—学びの場で指導が入りやすい
- ・網羅性—全児童生徒、教職員がもれなく利用者
- ・必要性—学習指導要領に活用が明記されている
- ・確実性—教科学習との連動による活用の場の担保

#### 学校図書館からテコ入れする理由

- ・公共図書館の非来館者にリーチ
- ・子どもたちの図書館活用能力向上
- ・図書館活用能力獲得層が厚くなる
- ・未来の図書館利用者像が変わる

図書館を有効活用できる市民の道筋には、学校図書館が機能していることが前提である。

#### ところが

#### 学校図書館は大きな課題を抱えている

- ・物が無い—資料（量的にも質的にも）、予算
- ・人がいない—司書、司書教諭
- ・場がない—時間、機会

### 【学校図書館を知る～本来の学校図書館の姿を捉える】

#### 学校図書館の機能

- ・読書センター＝自由な読書活動や読書指導の場  
学校教育の一環として、すべての子どもに、本を選んで読む経験、読書に親しむきっかけを与える。  
子どもたちが、自由に好きな本を選び、静かに読みふける場を提供したり、様々な本を紹介して、読書の楽しさを伝える。
- ・学習センター＝児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援する  
教室の授業で学んだことを確かめ、広げ、深める。資料を集めて、読み取り、自分の考えをまとめて発表するなど、児童生徒の主体的な学習活動を支援する。
- ・情報センター＝情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する  
利用指導等の取組を通じ、情報の探し方・資料の使い方を教える。学習に使用する資料や学習の成果物などを蓄積し活用できる。

### 【GIGAスクール構想による学校図書館】

#### GIGAスクールによる学校図書館の変化

- ・GIGAスクールで「つなぐもの」がふえる  
子どもを中心に⇄本・情報・人・コミュニティ・電子書籍・書籍・アナログ情報・デジタル情報…
- ・GIGAスクールで「つなぎかた」がふえる  
子どもを中心に⇄本・情報・人・コミュニティ・インターネット・メール・チャット・データベース  
ネット書店・書評サイト・デジタルアーカイブ…  
アナログもデジタルもリアルもバーチャルもつながる



#### 「本」にとらわれない学校図書館

～広い視野・幅広い知識・柔軟な思考～

学校図書館とは、社会に存在する

「情報」や「技術」に「いつでも」「自由」にアクセスできる場所

もはや紙の本だけで情報がとれる時代ではない  
「制限」された環境では、活動も「制限」される

#### デジタルを「前向きに活用」 デジタルデータの優位性

「本」では提供できないもの

- ・紙媒体の発行がない  
電子ジャーナル 更新のあるサイトの情報
- ・紙媒体では入手困難  
発行部数が少ない郷土資料 すでに絶版・販売終了(雑誌)  
配布期間終了(パンフレット・チラシ)

「本」では提供できないインパクト

- ・音声データ 文字情報からだ想像するものが違う
- ・動画 百聞は一見にしかず

#### デジタル特有の提供方法

- ・リンク情報 URL QRコード
- ・共有 クラウド

#### 無料で入手できる

- ・公的機関提供のデジタルデータ  
データベース、デジタルコレクション

「主戦場が学校図書館の学校司書です」は、宮澤先生の自己紹介の中にある言葉です。言葉どおり、学校司書としての経験と実績、これからのGIGAスクール構想の中での学校図書館の在り方を教えていただきました。また、先生の熱い思いが伝わる研修会でした。